

令和 6 年度第 1 回 旭川市パートナーシップ制度有識者会議 会議記録

日時	令和 6 年 5 月 2 3 日（木） 1 8 時 3 0 分～ 2 0 時 0 0 分
場所	旭川市 7 条通 9 丁目 旭川市役所 総合庁舎 7 階 大会議室 C
出席者	委員 7 名 浅野委員，今本委員，金子委員，佐伯委員，千葉委員，杣岡委員，夢月委員（五十音順） 事務局 4 名 片岡女性活躍推進部長，松山女性活躍推進課長，藤田補佐，朝日主査
欠席者	川口委員
会議の公開・ 非公開	非公開
会議資料	次第 資料 1 旭川市パートナーシップ宣誓制度について 資料 2 性的マイノリティに関する取組について 参考資料 LGBTQ 電話相談チラシ

1 議題

(1) 旭川市パートナーシップ宣誓制度について

事務局から、資料1に基づき説明。

■委員からの意見要旨 ※〈 〉内は事務局の発言

- ・ 第1号の方が初日に宣誓されたということで、勇気を持って先に動いてくれた方がいるから、自分たちもと後に続かれた方もいるのかなと思った。
実際にパートナーシップの関係にあっても、宣誓することはなかなか難しいかなと思っていたので、既に4組宣誓されていると聞き、とても良かったと思う。
女性活躍推進課の方たちが、一生懸命、丁寧に丁寧にされていた結果かなと思い、とても嬉しく思った。
- ・ 利用可能な行政サービスの(3)は、パートナーシップ制度を活用した旭川市の職員を対象にしたものということで、おそらくまだ活用はないかと思うが、今後そういう方がでてきたときには活用できる制度ということで良かったか。
〈そのとおりである。〉
- ・ 各種手当というのは、ここに記載されている以外にもあるのか。
〈パートナーを旭川に残して東京に異動した場合などの単身赴任手当などが対象になる。〉
- ・ 周知の部分は今後の大きな課題かと思うが、それ以外に、実際に制度が始まって見えた課題や、困ったこと、こうした方が良かったなど何かあったか。
〈今のところ、事務の流れなどでトラブルがあったり、こうしておけば良かったなどは担当者の感覚としてはない。順調に進んでいると思う。〉
- ・ 資料1の3(2)で、転出時に継続使用の申請をすることにより旭川市の受領証等を継続して使用できるということだが、逆のパターンで、例えば、函館から旭川に来た場合なども同様に、函館の受領証等を継続して使用できるということで良かったか。
〈そのとおりである。〉
- ・ 継続使用の申請をして旭川に来た場合、転出前の自治体には旭川から連絡するものなのか。
〈例えば、函館から旭川に転入して来た方については、まず、本人が函館で継続使用の申請をし、そのまま函館の受領証等を持って転入。函館市役所から旭川市役所に継続使用の申請書の写しなどが送られる仕組みになっている。〉

- ・ こういう制度が始まると、他の悩んでる方や困っている方に対してもいろいろ手助けになるので、まず1歩ということで、とても良いことだと思った。

- ・ 宣誓されたカップルの方が、制度を待ち望んでいたとおっしゃっていたということで、旭川市民全体の中の割合としては多くはないが、一部の市民がそれほど切実に求められていた制度ができて、嬉しい気持ちになった。想像していたより利用件数があったのも良かった。

この制度が1月から始まって、反対する声が寄せられていたら、件数や内容について差し支えない程度に教えてほしい。

〈制度導入以降、制度に反対するような御意見などは特に寄せられていない。〉

- ・ タペストリーがとても素敵で良いと思った。

カードもとても良いと思う。例えば、病院などでこれを見せることで、余計なことを話さなくても、病状説明等を受けられるということはとても大事だと思う。

この期間内で4組ということは、今後さらに周知されていったら、多様性をいい意味で認めることになり、少しずつ増えていくのではないかな。

アドバンスケアプランニングや独居問題などを踏まえ、1人にならないことの大事さを考えたら、色々な在り方を認めるのはすごく大事だと思う。

制度ができるまでは、色々あるのではないかとちょっと心配していたが、大丈夫で良かった。

- ・ 長く人権擁護委員の仕事をしていく中で、それぞれの方が、それぞれの生き方で、幸せに暮らしてくれんことを常に願って啓発活動を行っている。

宣誓をした4組の方は、いろいろ悩んでこられたと思うが、そういう中で、こういう選択をして、幸せに日々の生活を送っていただけることは、非常に嬉しいことだなと思う。

反対意見は特になかったということだが、実際にこういう啓発活動をすると、特に、我々のような高齢者に反対意見が多いものだが、少しずつ理解していただき、高齢者は高齢者で幸せに暮らし、それぞれ皆さん幸せに暮らしていただくのが1番だと思う。

いま4組宣誓しているが、もっと潜在的にはいらっしゃるのかなと。なかなかそのきっかけがつかめないと思うが、パートナーシップ制度については、ケアをいろいろな場面でしていくことが大事かなと思った。

- ・ 制度が始まったことで、こういう活動をしてきて良かったなと思った。

旭川の同性カップルで、この制度がなかったので札幌に行ってしまった友達がいて、そういう友達も、今後また旭川に帰ってくる可能性もあるのかなと思った。旭川は、導入は遅かったが、この、自治体間連携という事を進めているからこそ、生まれたことかなと思う。

都会から離れれば離れるほど宣誓は難しくなるかと思うが、連携があるので、旭川でこっそり宣誓することもできると思うし、そういう制度があるということが、同性パートナーの方達にとって、非常に勇気を与えるものだと思う。

まだ実績がない町でも、連携して導入したことが非常に大事なのだと思う。

(2) 性的マイノリティに関する取組について

事務局から、資料2に基づき説明。

■委員からの意見要旨 ※〈 〉内は事務局の発言

- ・ SNSを使うのはそういう時代かなと。電話は時間が決められるが、LINEは好きな時間に打てるのが利点なので、限られた月1回の3時間以外にも、相談したい人が、返事はすぐ来なくていいけれど相談できるというかんじだと、使いやすいかなと思う。
- ・ 電話相談の件数は決して少ない数字ではないと思う。
法務局の人権相談は毎日やっていて、数はこれよりは多いが、月に1回3時間でこれだけの数字というのは、結構効果はあるのかなと感じた。
LGBTQ電話相談員の方と、ある当事者の方のところに伺ってお話をしたときに、当事者団体を知りたいという相談に対しては、中には紹介しない方が良い団体などもあるので、十分注意して慎重に対応した方が良いというアドバイスがあった。
- ・ 相談なのにLINEで話すというのが、情報の漏洩など大丈夫なのかなと思った。
先日、旭川の行方不明の認知症老人などを探すときのアプリを作ったという記事を見た。解決したら共有した情報を全部抹消するというようなアプリで。LINE相談もそういうアプリにしてみてもどうか。
LINE相談は、ハードルは低いかもしれないが、相談内容は非常にデリケートなので、セキュリティをちゃんとしないとちょっと心配。それができると思っているから、LINE相談を業務委託でと決めているのかなと思いつつも、LINE相談というのはいかがなものかと思った。
旭川市がやっていることは非常に素晴らしいと思うが、そこを市としてゼロ予算というのはないと思う。こんなに一生懸命やってるんだから。
予算が付いてこそ公的な仕事として認められると思うので、少しでもいいから、予算を付けてやるということが逆に大事だと思う。
ガイドブックも、どうせ作るならゼロではなくて、しっかり予算つけていきましょうよと思った。
- ・ 電話相談やLINE相談の予算は多少付いても、事務分の予算がほぼないということなんだなと思ったが、私も、予算を付けないと仕事として認められていないような感じを受けた。
予算付けされたらもっと充実した啓蒙ができると思うので、そこは今後がんばっていただきたいと思う。
電話相談は私も決して少ないとは思わなかった。このままいけば、人口比でいうと札幌市くらいいくのではないかなと思うので、このまま続けていただきたい。
先ほど話題にもなったが、色々な当事者の団体があるので、例えば業務委託する際にも、漫然としないで、どういう組織か調べていったほうがいいという事はよく聞くので、相談窓口を広くする

ために色々なところに当たってみるのはいいと思うが、広げすぎてトラブルを招くことがないように、その点留意していただけるといいのかなと思った。

- ・ 電話相談の場合は録音をするのか。

〈録音はしていない。〉

- ・ それであれば、話している内容が外部に漏れることはないので通常秘密は担保されていると思うが、LINE の場合は文字が情報として残るので、LINE を運営している事業者から情報が流出したという事件もあり、ちょっと心配している。

かなりセンシティブな内容なので、匿名であるにしても外部に漏れた場合大変なことになるので、事業者に対してどういう個人情報保護を、義務を課すかということは確認された方がいいかと思う。電話と違って怖いのかなと、改めて意見を聞いて思ったので、確認をしていただければ。

- ・ 啓蒙活動については、2 か月に1 回、市内全部の小中学校の校長先生が集まって、校長会議・研修会を実施しているので、そこで、啓蒙してはどうか。

個人情報については、旭川市では、いじめ事案対応の取組の1 つに、小中学生がチャットを使って相談者のプライバシーを守りながら相談できるアプリを活用している。このようなアプリを使用する予算をもらった方が良くと思う。人権という部分では、同じだと思うので。

セキュリティが守られると思うので、ぜひ、予算要求してほしい。

- ・ 4 の電話相談について、電話で相談を受けて、そこからさらにどこかにつなぐとか、どこかを紹介することはあったか。

〈いま受けている分ではそういう事例はない。傾聴による対応がほとんど。〉